



学会ホームページ <http://jasce.jp>

023号(2014年11月22日)

目次

- 日本協同教育学会第11回大会報告
- 次期大会開催地と日程
- 『協同と教育』第11号の発行
- 出版情報
- 学会ワークショップの報告
- 各地の研究会・勉強会

日本協同教育学会第11回大会報告

大会テーマ:新たな10年に向けて、協同教育の潮流をより広く、より深く

10月24日から26日の3日間、第11回の全国大会が創価大学(八王子)で開催されました。主会場は昨年完成したばかり中央教育棟。研究発表・実践発表・ラウンドテーブルは計44本、講演やワークショップの企画は計



14件、参加者数は300名を超えて過去最大級の大会となりました。

初日24日は午後からワークショップ(3件)(写真:左)と小講演「深い学びとアクティブラーニング」が行われました。

二日目は朝から研究発表(8件)、実践発表(20件)、ラウンドテーブル等(6件)のほか、小講演「アドラー心理学と協同学習」など盛りだくさんの内容で、どの会場でも会員は熱心に討議に参加していました。

三日目は実践発表(7件)とワークショップ&セミナー(7件)があり、ディスカバリーホール(中央教育棟の大ホール)では大会企画シンポジウム「PI SAの動向と協同学習」(写真:下)が開催されました。



大会企画ワークショップや大会企画セミナーが多く行われたのも今大会の特色でしょう。特に学会誌『協同と教育』への投稿を目指す会員のための「投稿論文の書き方講座」はほぼ

満席の盛況でした。

日本全国からたくさんの皆様にご参加いただき、実りの多い交流をすることができました。

次期大会開催地と日程

明年の第12回大会は、久留米大学御井キャンパスを会場に、10月17日(土)、18日(日)に行われる予定です。日本協同教育学会の設立初年度に第1回大会が行われた、本会にとっての歴史の地であり、懐かしい会場です。第12回大会は、安永悟先生が実行委員長を務め、「ほとめき(おもてなし)」の心で皆様をお迎えいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

『協同と教育』第11号の発行

『協同と教育』第11号(2014年)を発行しました。お手元でご活用いただければ幸いです。『協同と教育』への投稿は随時受け付けておりますが、投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常、数ヶ月を要します。学会機関誌『協同と教育』第12号(2015年発行)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

出版情報

●LTD話し合い学習法

仲間との教え合い、学び合いを通して課題文を深く読み解くことで主体的な学習者を育成するLTD(Learning Through Discussion)。その理論と実践と授業づくりを、スライドを提示しながら具体的にわかりやすく詳説しています。安永悟・須藤文(共著)。ナカニシヤ出版。

●見ることを楽しみ書くことを喜ぶ

協同学習の新しい形
一看図作文レパトリー
「書くことがない」「どう書いていいかわからない」と作文に苦手意識のある人も、楽しく取り組める看図作文を協同学習ツールとして活用する方法を解説しています。鹿内信善(著)。ナカニシヤ出版。



JASCE

学会ワークショップの報告

ワークショップ<アドバンス>を開催

11月15・16日の両日、名古屋において南山大学人間関係研究センター主催の協同学習ワークショップ(アドバンス)が関田一彦先生を講師として開催されました。参加者は24名で、「講座内容に満足しただけでなく、参加者の皆さんの考えや取り組みの姿勢がすばらしく、感心した」「協同学習のめざす自立や自律を促していくということが、非常に大切であることがわかった」「今まで岸の見えない大海の中を

泳いでいるように感じていたが、岸が少し見え、あそこを目指せばいいのかと思えるようになった」などの感想が寄せられました(写真:右)。

協同学習ワークショップ(一日研修)を開催

11月16日(日)、米子コンベンションセンター―協同学習ワークショップが開催されました。参加者は22名。講師は、有本高尉先生(日本協同教育学会認定トレーナー)と水谷茂先生(元小学校校長)。協同学習の基礎理論と、明日の授業に役立つ考え方

や技法を、参加者自身が協同学習を通して体験的に学びました。日常の授業のなかで生徒間の活動によって人間的な成長を育むという視点には賛同の声があがりました。



各地の研究会・勉強会

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会
◇10月例会の報告

10月14日(火)19:00から名古屋大学教育学部で開催しました。テーマ:「津高校のキャリア教育を踏まえた地理の授業―『授業がキャリア教育』の進学校を目指して―」。報告者:林仁大先生(三重県立津高等学校・進路指導主任)。キャリア教育とアクティブラーニングの実践報告で、生徒を学びの主体とする改革がキャリア教育につながるという報告でした(写真:右)。

◇11月例会の報告

11月1日(土)13:30から星城大学で開催しました。「授業で育つ教師の会」(第50回)との共催でした。テーマ:「授業改革に挑む学校をつくる」。名古屋大学の柴田好章先生がファシリテーターを務め、名古屋石田学園

星城高等学校・田中竜平先生の実践研究論文「書く気持ちを高める授業実践の一実践―参加型授業を通して―」に掲載された授業記録の分析を行いました。

◇次回の開催日

今回は12月17日(水)19:00から名古屋大学教育学部で開催します。テーマ:「主体的な学びを目指した高校数学の授業改善に取り組んで―10か月目の実践報告と現状の課題―」。報告者:内藤俊一先生(東海高校・学習指導部長)。報告者が今年になってから開始したアクティブラーニ



ングの試みのありのままの報告です。ご連絡は水野正朗まで。

(mizunokita@yahoo.co.jp)

<水谷茂の協同学習実践講座>

10月4日(土)と5日(日)、犬山市を中心として協同学習を追究してきた実践者、水谷先生から協同の学びづくりのヒントを得ようという講座が開催されました。4日(土)は協同学習授業体験、5日(日)は協同の手法を用いた指導案の作り方講座とビデオによる授業事例の検討でした。参加者からは「とても実践的で明日からでも自分の授業に生かせる内容なので、とても有意義な講座だと思います」「研修会で学んだこと感じたことを語り合う時間があるのは、自分にとって成長させてもらった気分になります」等の感想が寄せられました。

JASCE

各地の研究会・勉強会 (つづき)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇第1回研究会の報告

9月26日(金)、19時から大阪・梅田駅の北側「グランフロント大阪」で第1回目の「協同学習を用いた看護教育研究会」を7名で開催することができました。会員の北村さんに協同学習ワークショップ、アドバンス受講の報告と小児看護学概論での授業展開についてプレゼンしていただき、とても賑やかな意見交換となりました。さらに教育効果の評価のあり方についても議論しました。研究会の後、第1回目を記念して「世界のビール博物館でビールを一杯乾杯して帰ろう」だったので、酒豪揃いで一杯がいっぱいになりました。



◇次回の開催日

次回は11月28日(金)に開催します。

ご連絡は緒方巧まで。

(t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇平成26年度第3回の研究会のご案内

第3回研究会は、12月6日(土) 14時00分～17時30分、岡山大学教師教育開発センター東山ランチ(いつも通り)で開催します。

発表者:清水衡先生(滋賀県大津市立瀬田小学校)、教科・教材:算数「場合を順序よく整理して」、学年:小学6年生。学習指導案と授業の逐語録等を資料としてご提供頂く予定です。

参加される先生方には、およそ1週間前にPDFで配信致します。

◇次回以降の開催日

第4回の開催予定は来年3/7(土)です。お申し込み、ご連絡は高旗浩志まで。

(takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇11月研究会の報告

11月1日(土)13:00から久留米大学御井キャンパス御井図書館で開催しました。①技法の体験:今回は「スリー=ステップ=インタビュー」を組み込んだ仲間づくりを行いました(担当:安永悟)。②ワークショップ「教育ファシリテーションにおける『ランク』の気づき」ではランク理論やグループアプローチについて学びました(担当:久留米大学・岩田好司)。

◇次回のご案内

12月13日(土)は、初年次教育学会の協力のもと、日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会第7回大会として開催されます。「授業づくり研究会」のメンバーや両学会員でない方もご参加できます。参加申し込みは、日本リメディアル教育学会九州沖縄支部会にある申し込みフォーム

(<http://www.jade-web.org/jade/branch/kyuusyuukinawa.html>)

からお願いします。

その他のご連絡は安永悟まで。

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

●教師力を向上させる

50のメッセージ

著者自身の教師経験や、指導主事・管理職としての指導経験から導き出した、教師力向上のための50のポイントを、簡明なメッセージとわかりやすい解説で伝えています。関根廣志(著)。学事出版。

●協同教育実践資料21

「響き合い、高め合う学び」を創る 研究的実践

愛知県犬山市立犬山中学校の授業実践を中心とした実践資料です。入手ご希望の方は一粒社(メール:page1@1tsubu.com)にお申し込みください。

